



2023年6月13日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 サ ン リ オ
代表者名の役職氏名 代表取締役社長 辻 朋 邦
(コード番号 8136 東証プライム市場)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 岸 村 治 良
電 話 番 号 03 (3779) 8058

当社第 63 回定時株主総会 第 2 号議案に関する 議決権行使助言会社グラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解について

当社は、2023年6月22日開催予定の第63回定時株主総会の第2号議案について、議決権行使助言会社 Glass, Lewis & Co., LLC (以下、「グラスルイス社」) が、反対を推奨している旨のレポートを発行している事実を確認いたしました。

つきましては、下記の通り、グラスルイス社の反対推奨に対する当社の見解を記させていただきます。株主の皆さまにおかれましては、当社定時株主総会招集ご通知、ならびに本内容を今一度ご一読頂き、改めて当該議案へのご理解を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

記

1. グラスルイス社の反対推奨内容

グラスルイス社では、政策保有株式の保有額が連結純資産額の10%以上である場合に、会長（会長職が存在しない場合は社長等の経営トップ）の選任に反対推奨する旨の定量基準を定めています。今回、当社の同比率が、定量基準に抵触すること、及び過去5カ年度の自己資本当期純利益率（以下、「ROE」）の平均値が5%を下回ることを主因に、代表取締役候補者である辻朋邦の再任議案に反対を推奨しています。

2. 当社の見解

当社における政策保有株式は、取引先との長期的・安定的な関係の構築や、営業推進などを目的とするものであり、当社の中長期的な企業価値向上の観点から保有しているものであります。

保有株式については、年度ごとに株式銘柄単位で資本コストに見合っているか採算状況等を踏まえ保有方針の見直し、及び検証を行っております。取締役会において企業価値向上に寄与しないと判断したものは既に解消を進めております。

期限や規模につきましては今後の課題としておりますが、保有の合理性が認められなくなったと判断される銘柄については売却を行っており、全体として縮減を図っております。実際に現時点までにおきまして、取締役会の承認を経て既に解消を進めている個別の銘柄があります。

2023年3月期におきましては、保有意義の検証を行い、6銘柄について売却を実施し、特に上場企業の株式保有に関しては、2023年3月期末における連結純資産の10%を下回る水準まで縮減しております。

2023年3月期末における保有株式のうち、3,191百万円につきましては、非上場株式に対する投資となります。当社の新規事業である教育事業（エデュテイメント事業）やデジタル分野におきまして、資本提携による事業領域拡大のために株式非公開の段階から株式の保有を行い、取引関係を深めているものであり、今後の事業展開において必要な出資と位置付けています。

政策保有株式の保有意義の検証につきましては、連結純資産額に対する割合という一義的な定量基準ではなく、事業戦略上の重要性、取引先との事業上の関係等を総合的に判断されるべきものと認識しております。

また、ROEの過去5カ年度の平均が5%を下回っている点に関しましては、当社における現中期経営計画がスタートする以前の業績低迷期におけるROEの値も含めて計算されたことによるものです。現中期経営計画期間における直近2カ年度（2022年3月期、2023年3月期）のROEにおきましては、現経営体制における構造改革が大きく進捗し収益性が大幅に向上した結果、それぞれ8.5%、16.4%となり、資本効率が飛躍的に改善してきております。

株主の皆さまにおかれましては、本内容をご確認いただき、当該議案への正しいご理解を賜りますようお願い申し上げます。

以上